

平成28年度栃木県計画に関する 事後評価

(継続事業分)

令和 4 (2022) 年11月
栃木県

事業の実施状況（令和3（2021）年度の状況）

事業区分4：医療従事者の確保に関する事業

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	【医療分No. 16】 とちぎ地域医療支援センター事業	【総事業費】 7,000千円
事業の対象となる医療介護総合確保区域	全区域	
事業の実施主体	県（とちぎ地域医療支援センター）、栃木県臨床研修医確保対策委員会	
事業の期間	平成28年度～平成30年度、令和3年度 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	<p>将来の医療需要の変化に対応した医療提供体制を充実させるため、各医療機能に対応できる医師の育成・確保が必要。</p> <p>アウトカム指標： 《H28～H30》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療施設に従事する医師数（人口10万人当たり） 212.8人（H26）→ 233.6人（H30）※H26全国平均 ・県内病院に勤務する医師数（常勤） 2,881人（H30.4.1）→ 2,941人（H31.4.1） <p>《R3》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内病院に勤務する医師数（常勤）※ R3.4.1→R4.4.1 ・県全体 3,010人 → 3,050人 <p>[内訳]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県北医療圏（医師少数） 367人 → 377人 ・県西医療圏（医師少数） 146人 → 156人 ・両毛医療圏（医師少数） 300人 → 310人 ・宇都宮医療圏（中間） 578人 → 583人 ・県東医療圏（中間） 85人 → 90人 ・県南医療圏（医師多数） 1,534人 → 1,534人 <p>※栃木県保健福祉部医療政策課調査</p>	
事業の内容（当初計画）	とちぎ地域医療支援センターによる医師確保支援事業 ①とちぎ地域医療支援センター運営事業 ②医師修学資金の貸与 ③無料職業紹介事業（病院見学助成）	
アウトプット指標（当初の目標値）	令和3年度 ・地域枠医師等の養成数 83名	
アウトプット指標（達成値）	令和3年度 ・地域枠医師等の養成数 83名	
事業の有効性・効率	事業終了後1年以内のアウトカム指標：	

性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内病院に勤務する医師数（常勤） <p>R3. 4. 1→R4. 4. 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県全体 3,010人 → 3,129人（+119人） <p>〔内訳〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県北医療圏（医師少数） 367人 → 387人（+20人） ・ 県西医療圏（医師少数） 146人 → 152人（+6人） ・ 両毛医療圏（医師少数） 300人 → 305人（+5人） ・ 宇都宮医療圏（中間） 578人 → 615人（+37人） ・ 県東医療圏（中間） 85人 → 95人（+10人） ・ 県南医療圏（医師多数） 1,534人 → 1,575人（+41人） <p>(1) 事業の有効性</p> <p>令和4年4月1日時点の県内病院の常勤医師数は、前年から119名増加している。</p> <p>地域医療支援センターが主体となり、県内の大学及び医療機関と連携しながら、医学生から専攻医までキャリアステージに応じた医師確保に関する取組を総合的に実施することにより、医師の確保及び定着に直接的な効果があったものとする。</p> <p>(2) 事業の効率性</p> <p>地域医療対策協議会の開催を含め、関係団体・機関と連携・協力しながら施策を進めることで、必要かつ効果的な事業に限って実施している。</p>
その他	